

# ふたかみ NEWS プチトマト

## ハピバール さんぽ

8月に入り、本格的に夏が始まりました！ハピバールでは、週に2日は散歩などで外にでかけ、体を動かすとともにリフレッシュしています。



熱中症対策として、夏に梅シロップを作り、休憩時間に梅ジュースを飲んでいきます！毎年、この梅ジュースをなかまは楽しみにしています。



### これでひと安心

新型コロナ対策のひとつのワクチン接種は、大規模会場や初めて行く病院で受ける事が難しい方が障害のある方には多くいます。それもあってなかまのワクチン接種がなかなか進まない状況でした。障害のある方は特別な配慮が必要と認めながらも、その対応は自治体によって様々でした。羽曳野市も国の言う事をなぞるだけでしたが、嘱託医のぶどうの家診療所の大畑先生に快諾していただいた事で一気に前進しました。

毎日通所している事業所で職員や他のなかまと一緒に受ける事が出来たので安心できました。心の準備ができるまで待つて貰えたり、作業場から動けない人の所まで行って接種をしてもらえたり、その後副反応が出ないかしばらく様子も見てもらえました。私たちの事を知った先生が近くにいてくれて本当に良かったです。個別に必要な対応がひとりひとり違います。私たち支援者がなかまの代弁をしながら彼らの生活をしっかりと守っていきたく思います。(関口こ)



### 古着市開催!

ぶらさ ミニバザー  
(雑貨・食器等あり)

ふたかみ福祉会後援会では、コロナ禍により昨年度は中止となったバザー・古着市を実施することになりました。当日は規模を縮小し、古着をメインとしたイベントとなる予定です。

11月13日(土) 10時~14時  
雨天中止(小雨決行の場合あり)

場所：翠鳥園遺跡横空き地

感染対策を十分に取って開催いたします。ぜひ会場へお越しください

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況などにより、内容の変更や中止の可能性がございますので、あらかじめご了承ください。

### ■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

【2021年度7月】

- ・八木昭二 中島圭一 . . . . . 以上5口
- ・春日久美子 正木広美 . . . . . 以上3口
- ・川瀬真弓 山口綱一 大畑和弘 井上重蔵 中島俊雄 . . . . . 以上2口
- ・戸田奈保 加藤陽康 辻本裕子 西川光子 藤田隆晴 校樹木浩代 川端悦子 妹尾睦子 荒田明美 佐々木有馬 池田三千代 高野和子 池田聡子 嶋田佳代子 樋上恵美子 藤田千代子 山本節子 山本信行 八木恵美子 永田博子 中村鈴子 荒尾和子 依藤邦彦 尾崎里美 奥長靖久 出口哲史 伊藤由布子 伊東敏紀 中桐淑子 倉木暁子 西沢君子 横浜幹子 中村洋子 白石義男 白石恵子 関口光 西村和子 長谷輝子 藤よし子 内田純司 東昌夫 寺嶋博子 橋本哲夫 橋本妙子 岩崎浩一 若林茂美 多田えり子 . . . . . 以上1口

- 寄附 . . . . . 春日久美子様 澤下則子様 八木恵美子様 奥長靖久様
  - ボランティア . . . . . であい様/畑英作様/細川直幸様/松倉和代様/垣内秀夫様
  - アルミ缶回収(7月分) . . . . . 1036kg
- ありがとうございました

◆2021年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆  
法人では用地を確保し、暮らしの場の充実をはかっていきます。  
皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。  
【個人会費：1口3,000円 団体会費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894

# 研修「コロナ禍だからこそ、わたしたちが大切にしたいこと、まもりたいこと」

7月10日きょうされんの「コロナ禍の実践報告会」をオンラインで参加しました。今まで当り前に取り組んでいた研修はコロナが流行り、対面での研修が少なくなっています。しかしメリットもあり、予想していた人数を大幅に超える参加者が集まることができました。

実践報告の中に、今まで取り組んでいた行事やイベント・販売が中止になり、ただ通所するだけ、ただ休んでもらうだけの日々を過ごすことが当たり前になっていった、と発表がありました。

緊急事態宣言発令から日が経つにつれ「毎日暇やねん」「自分で自分は通所出来ないのに他の人は出来るの」との声が利用者から出てくるようになったけれども、理由を伝えることが出来ず、「休んでください」の言葉は簡単に使えるものの、リスクばかりを気にするあまり私たち支援者が本当にしなければならぬことが疎かになりつつあったのではないかと改めて感じまし

# 管理者研修「楽しい航海をするために、私たちが求められること」

きょうされんの第7期次世代施設長・管理者研修は、管理者として「人を見る目」「組織を見る目」「地域・社会を育てる」といった視点をもつことができるように、5回にわたる研修・交流がおこなわれます。その第1回目に、フォローアップ研修という位置づけでオンライン参加をしました。

当日はいくつか講義がありましたが、最初はきょうされんの専務理事である藤井克徳氏の講演でした。藤井氏の話では、自分たち「管理者」の仕事の役割は何なのかという事をタイタニック号に例えて話されました。冰山が当たらないように、事故を最小限におさえるようにするには、舵取りが必要で、その舵取りを管理者がすることが必要で「客室」の中ばかりに目を向けていては、冰山に当たってしまう、ということをお話され、印象深く残りました。

他の講義では、優生保護法被害裁判について、原告の方が、幼少期のころから、手術に至る

まで…など辛い過去や今を語ってくれました。この優生保護法に関しては、本人の同意や理解なしに将来の希望を奪っている、ということだけではなく、障害のある人が「劣った」存在として位置づけられること自体が被害だと主張しています。こういった障害があるからこそ抱かされた「傷」は、はかりしれないと思います。後日おこなわれた裁判では、手術は違憲であったということは認めながら、20年の除斥期間の経過を理由に、原告の請求を棄却したという許しがたい結果となりました。

藤井氏は講義の中で、施設の玄関を一步出た、その社会が良くなないと、仲間の生活を守ることができないと話されました。よりよい航海ができるよう、社会や社会福祉制度に、これからも着眼していこうと思った1日となりました。

(関口な)



(山田)

## はびきの園の土曜回

### うちわ作り

7月17日の土曜開所は手作りうちわに取り組みました。うちわの形に切った色画用紙に、マジックやクレヨンで好きな絵を描いたり色紙を切って貼ったりと、それぞれが思い思いのうちわ作りに取り組みました。出来上がったら芯の状態のうちわにボンドで両面貼り付け、マイうちわの出来上がりです。

当日は各班で、取り組み、担当者が材料を配りながら説明をするという形式で行いました。テーマは自由でしたが、やはり夏のイメージから涼しい作品が大半でした。すいかの絵や魚、ヨットなど季節を感じさせるうちわや、カラフルな色紙を小さく切って貼った涼しげなうちわが完成。完成後はマイうちわの涼しい風を楽しみました。(高木)



### コインホールゲーム



7月22日開所日の取り組みとしてYouTubeで話題のコインホールゲームを楽しみました。トウモロコシを詰めた袋を板に開けられたホールめがけて投げ入れるゲームです。事前準備から当日の進行まで仲間が携わり、ひとつのゲームを自分たちの力で作り上げていました。触れたことのないゲームに気持ちの高ぶる仲間も、使用したトウモロコシはポップコーンにしておいしくいただきました。コロナ禍で出来ることは限られていますが楽しい取り組みを準備していきます。(田岡)

## はびきの園「ポーナスの取り組み」

### リサイクル班



8月12日、あいにくの大雨の中でしたが、待ちに待ったポーナスの取り組みを行いました！コロナウィルスの影響で、外出を避ける取り組みがなかなか叶わないものかと思いますが、「おいしいものが食べたい！」という仲間の思いからオムライスのテイクアウトを行いました。今回は、事前にメニューを見てひとりひとりが食べたいものを注文しました。第3はばはたきホームN階のスペースを借りて、机を輪にして給食と

は違った形では違った形でみんなで美味しく食べるのが出来ました。また、食後は椅子取りゲームを行い大盛況でした。



た♪様々な制限が伴う現状ではありますが、楽しく有意義な1日を過ごすことができました。

### 製菓班

今回の製菓班のポーナス取り組みはバイキング！お店には今行きにくいので、好きな食材をみんなで考えて、はびきの園の中でしました！好きなものばかりで、みんないっぱい食べていました。午後はカラオケやかき氷を楽しんで、大満足の1日になりました。冬のポーナスに向けて、また頑張るぞー！！

(寺村)

